



2024年10月31日

各 位

会社名 日本金属株式会社
代表者名 取締役社長 下川 康志
(コード: 5491 東証スタンダード)
問合せ先 財務部長 佐藤 嘉宣
(TEL 03-5765-8105)

特別損失の計上及び2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異 並びに2025年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期会計期間(2024年7月1日～2024年9月30日)において、特別損失を計上いたしました。これにより、2024年5月13日に「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)累計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期通期(2024年4月1日～2025年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社及び当社グループは、2025年3月期第2四半期会計期間(2024年7月1日～2024年9月30日)において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、今後使用見込みのない遊休資産につきまして、減損損失94百万円を計上いたしました。

2. 業績予想と実績との差異について

(1) 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,000	百万円 △ 200	百万円 △ 300	百万円 △ 200	円 銭 △ 29.88
今回発表予想(B)	25,792	△ 171	△ 273	△ 357	△ 53.47
増減額(B-A)	△ 207	28	26	△ 157	
増減率(%)	△ 0.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期中間期)	24,266	△ 747	△ 796	△ 803	△ 120.02

(2) 2025年3月期 第2四半期(中間期) 個別業績予想と実績との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,000	百万円 △ 500	百万円 △ 500	百万円 △ 300	円 銭 △ 44.82
今回発表予想(B)	19,564	△ 549	△ 510	△ 428	△ 63.95
増減額(B-A)	△ 1,435	△ 49	△ 10	△ 128	
増減率(%)	△ 6.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期中間期)	18,879	△ 1,214	△ 1,208	△ 1,040	△ 155.48

(業績予想と実績との差異の理由)

売上高につきましては、自動車メーカーの検査適合性問題及び中国市場の景気停滞長期化等により業績予想を下回りました。

利益面につきましては、営業利益及び経常利益は業績予想と同水準でしたが「1. 特別損失の計上について」に記載の減損損失等により、親会社株主に帰属する中間純利益は業績予想を下回りました。

個別の業績予想と実績につきましても、上記と同様の理由により差異が発生しております。

3. 業績予想の修正について

(1) 2025年3月期連結業績予想の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 54,000	百万円 300	百万円 150	百万円 100	円 銭 14.94
今回発表予想(B)	53,000	△ 300	△ 450	△ 500	△ 74.69
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 600	△ 600	△ 600	
増減率(%)	△ 1.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	51,411	△ 1,095	△ 1,261	1,545	230.84

(2) 2025年3月期個別業績予想の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 44,000	百万円 △ 400	百万円 △ 400	百万円 △ 200	円 銭 △ 29.88
今回発表予想(B)	40,000	△ 950	△ 950	△ 750	△ 112.04
増減額(B-A)	△ 4,000	△ 550	△ 550	△ 550	
増減率(%)	△ 9.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	40,424	△ 1,861	△ 1,950	1,177	175.87

(修正の理由)

みがき帯鋼事業における主要取引先である自動車関連産業にて、国内では自動車生産台数の回復が緩和傾向にあるものの販売数量の回復は限定的なものとなりました。また、中国市場の低迷の長期化による需要の回復は大幅に遅れており、中間期の売上高は減少いたしました。

下期においても同様に、自動車産業における販売回復の遅れが見込まれ、収益を押し下げる影響等が懸念されます。

当社グループにおきましては、お客様の成形・表面処理加工の向上を実現させる新製品の開発・拡販とともに、生産効率の改善・品質改善及び諸コスト上昇を反映させた販売価格の是正、徹底したコストダウンに努めて参りましたが、通期業績予想を修正することといたしました。

個別の業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正するものです。

(注) 上記の予想数値につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上